

## 第4回「一日体験ボランティア」報告

平成29年12月1日（金）9：30～14：30

聖康会病院・デイケアぶどうの樹の皆さんと

「おやつづくりと茶話会をしましょう！」

今年度第4回の「一日体験ボランティア」は、今年も聖康会病院ぶどうの樹さんのご協力をいただいて、「おやつづくりと茶話会をしましょう！」というタイトルで行われました。

当日の活動者は、体験参加者1名（申込者2名、うち1名は風邪のため欠席）、ボランティア支援センターから2名、ぶどうの樹通所メンバーの方9名、ぶどうの樹職員4名の合計16名でした。

担当のぶどうの樹職員から「『デイケアぶどうの樹』は、精神科の病気のリハビリをするための施設です。こちらに通っている人たちは、1人暮らしをしている人もいれば仕事をしている人もいて、私達と同じように地域で生活している人たちです。月1回のおやつづくりは治療の一環として行っており、手順を踏むこと、設計通りに出来るかなど、日常生活を送る上で必要な協調性を養えるプログラムになっております。」と事前に説明がありました。

今回は、「ロールケーキの生地を作る」「さつまいものポタージュを作る」「りんごパンを作る」この3つのグループにそれぞれ班分けをしました。その後レシピを確認してからおやつづくりの作業に取り掛かりました。

体験参加者はメンバーさんと一緒に作業手順を確認したり、交代をしながら作業を行ったり、全員で協力しながらお菓子づくりをしていました。それぞれのグループで、にぎやかにお話しをしたり、楽しそうに作業をしている風景が見られました。

さつまいものポタージュが一番早く出来上がると、他の班の作業を手伝ったりと、とても協力的だなと思いました。

体験参加者は、「みなさんとてもてきぱきと働いて、手際がよくてすごいですね。」と感想を述べていました。

ロールケーキの生地を巻く作業と、りんごパンの生地をこねたり丸めたりする作業は難しそうにしながらも無事に完成できました。

全員で昼食をとったあとは、体験参加者とメンバーさんがくつろぎながら普通に会話をしている様子がとても自然で、メンバーさんもとてもリラックスしていました。

午後は、自分たちが作ったおやつをいただき、「すごい美味しい。」という声があちこちから聞こえて、とても楽しい雰囲気でした。

最後に参加者全員が感想を述べて、メンバーさんからは、「とても楽しい時間でした。」「みんなと協力しながら作ったおかしはすごくおいしかった。」等の感想があり、体験参加者は、「またこういう機会があったら参加してみたい。」という感想を述べていました。

体験参加者とメンバーさんがこのような形で交流を持てたことによって、ボランティアって楽しいと感じ、今後のボランティアを始めるきっかけになっているように思いました。